

特殊条件下での建設施工機械 特集

1	グラビア	第8回北京建設機械展示会・技術交流会	
3	巻頭言	特殊条件下での建設施工機械	松井 宗広
4		触覚情報を用いた水中バックホウ遠隔操作システムの開発	平林 丈嗣・白石 哲也・加藤 英夫
10		都市内での浅層大断面非開削トンネル—MMST工法—	池田 信哉
15		部分拡幅シールド工法 (VASARA シールド工法) の開発	—非開削による大規模地下空間構築技術—
20		省スペース型垂直土砂搬送装置—鉄道建設工事への適用—	平井 幸雄・高橋 浩史・金井 孝行
24		厳しい施工条件を克服する圧入工法の開発—GRB システム工法—	山口日出男
31		2つのフロントを有する双腕作業機の開発—速度指令式ワンレバー方式で制御—	石井 啓範
36		狭隘空間で使用する内装解体機の開発と適用	小林 直廣・毛利 勉
40		汚染土壌対策を支える無人化施工システム	杉本 英樹
44	ずいそう	昔話になった私の趣味	白熊 太郎
45	ずいそう	「愛地球博」閉幕によせて	鈴木千亜希
46	JCMA 報告	九州電力株式会社小丸川発電所上部発電所調整池における IT を用いた 施工及び工事現場見学会	機械部会路盤舗装技術委員会
49	CMI 報告	コンクリート構造物の断面修復に用いる補修材料の性能評価	谷倉 泉・設楽 和久・三浦 康治
51	新工法紹介		広報部会
52	新機種紹介		広報部会
56	統 計	(2005年9月)	広報部会
57	行事一覧	(2005年10月)	
60	編集後記		(山崎・新野)
(1)		2005年1月～12月号既刊目次一覧	

◇表紙写真説明◇

汚染土壌対策を支える無人化施工システム
写真提供 五洋建設株式会社

立ち入り禁止区域内の土工事を行う無人化施工は、災害復旧工事だけでなく土壌汚染の対策工事への適用も期待されている。汚染区域

の工事は周辺への影響を考慮して防塵建屋や仕切り鋼矢板などで囲われた中で行われるため、電波伝送状態や把握できるテレビカメラによる現場状況が従来の無人化施工とは大きく異なる。そのため、無人化施工を汚染土壌の恒久対策工事の一部において試験的に実施して、適用の有効性を検証した。写真はそのときの電動油圧ショベルによる掘削の様子およびその操作状況である (本文 pp. 40-43 参照)。